

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	障害福祉サービス
事業所名	障害者支援施設 ステップ広場ガル 障害者短期入所事業 ステップ広場ガル
代表者氏名（管理者）	施設長 木村和弘
法人名	社会福祉法人 しが夢翔会
定員（利用人数）	施設入所 50名（現41名）・生活介護60名（現53名） 短期入所利用者 15名（現平均7～8名）
施設・事業所所在地	大津市石山千町270-3
TEL	077-534-4477（法人・入所） 077-534-4889（短期入所）
FAX	077-534-4479（法人・入所） 077-534-4488（短期入所）
電子メール	gull001@shigamushoukai.or.jp（法人）
ホームページアドレス	http://shigamushoukai.or.jp/

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和8年1月13日・1月14日

3 評価の概要

○ 総合評価

ステップ広場ガルは、社会福祉法人しが夢翔会が1996年5月に法人として設立した翌年1997年4月に障害者入所施設・生活援助・短期入所施設の役割を担い、開所より29年目を迎える歴史ある施設です

大津市石山と立地もよく、近隣には職員と歩いて一緒に出かけられるお店もあり、地域住民がゆっくり歩ける散歩コースにもなっています。

しが夢翔会の法人の理念「私たちは、障害のあるすべての人が生活の主人公としてかけがえのない人生を歩み、豊かに暮らす地域をともに創ります」にある通り、生活施設の意義と特徴を自覚し、利用者一人ひとりを尊重したあたたかい施設・事業所となっています。生活介護においては、昨年度に新たな活動棟が完成し、現在、エコ工房班・牧班・ホール班・コスモス班の4班に分かれて活動されており、利用者のニーズに合わせて活動やグループの編成を柔軟に行いながら丁寧に一人ひとりにあった日中活動を検討し再編しながら進められています。重度の知的障害がある方を中心に約50名の方が生活されている24時間365日体制の入所施設です。障害者の援助者・伴走者として、利用者の基本的人権を守りながら利用者や家族等の意見が反映された施設運営が行われています。

○ 特に評価の高い点

【良い点】

1. 人権への配慮

職員の仕事に対する姿勢と心構えで、援助者として利用者の人間としての尊厳を尊重が明記されており、基本的人権を守る取り組みとして非常に細かく記され、呼称・接し方・関わり方の工夫や、差別を決して容認しない強い倫理観がうかがえます。

元気で快適に暮らしたい、様々なことを経験したい、自分で決めたい、持っている力を精一杯使いたい、地域の仲間として暮らしたいという、皆が当たり前持つ願いに応えられるように支援する努力が感じられました。

職員一人一人がお互いの専門性を尊重し、各棟がチームとして連携し利用者の思いに即して日々研鑽に努められています。重度障害により自己決定が困難な方にも、日々の小さな決定を積み重ねることでその表情を読み取り、少しでもより良い支援につなげていこうとする感性豊かな関わりができています。

2. 利用者に応じた個別支援体制

個別支援計画の策定：アセスメントシートには、基本情報や思いやニーズ、代表的なエピソード等細かく聞き取り記録するようになっており、行動障害や行動面のしんど

さ・難しきとして、どんな状況でどのようなことが起こり、どう支援対処したのか具体的に記されており、次の支援に繋がられている。最も気持ちよく過ごせる状態・状況や、逆に最もしんどい状態・状況も記し、個々の状態や障害の特性に応じて支援できるように、丁寧にアセスメントされ、利用者の状況を十分に把握したうえで個別支援計画が作成されている。1月から3月に翌年の支援計画を作成するための会議を持たれているが、毎月のモニタリングや各棟班での会議でも話し合い、必要に応じケース会議や重点ケース会議も開催されている。

関係機関との連携：地域の関係機関とも必要な情報を適宜連携しており、風通しの良い連携体制が構築されています。

記録管理：毎日の支援は詳細に記録・管理されており、職員間で懸念事項や気づきを常時共有できる仕組みが機能しています。

3. 家族との連携

家族等との協働：家族の高齢化により、会議を開催しても参加者がなく家族会はやも得ず終結される運びとなっているが、家族との関わりは良好で電話での問い合わせや心配事には丁寧に対応されている。アンケートからも信頼関係が構築されていることが理解できた。

利用者の高齢化問題への対処を早い段階から計画的に進めるだけでなく、それに伴う家族の高齢化が極めて深刻な危機的状況にあることに着目し、法人自主事業としての家族支援室で、これまで担ってきた各種相談や申請事務の代行を継続するだけでなく、環境の変化に合わせてより丁寧に対話することで共に困難な状況に立ち向かいサポートしていこうと計画されている。

入所機能を持つ社会福祉法人としての自覚を持ち、最大限要望に応えようとする姿勢は特筆すべき取り組みであると言える。

4. 職員の資質向上と良好な職場環境

継続的な研修：支援の質の向上に直結する、年間を通じた研修機会が豊富に用意されています。研修内容は倫理、危機管理、事例検討など多岐にわたる分野を網羅しており、職員が幅広い専門知識を習得できるよう配慮されています。

温かい職場環境：職員間の信頼関係が良好であり、困った時や迷った時に気兼ねなく相談できる環境が整備されています。心理的安全性の高い職場であることが感じられました。また、様々な課題に対しても柔軟な対応の可能性があると感じました。

4. 整備された生活環境

施設は歴史があり老朽化しているものの、廊下や居室・ホールや厨房どこも大変清潔

で、物が置いてあったりゴミが落ちていることもなく、歩きやすくとにかく気持ちが良い空間でした。清掃のスタッフもいない中、清潔な生活環境を保持し続けることは容易ではないと思いますが、一人ひとりが利用者の特性に配慮し職場を大切に思うからこそ実現していることだと感じます。

○ 改善を求められる点

地域とのより良い関係の構築に向けて

学区の地域行事への参加（夏祭り、運動会、文化祭）を継続しておこなっていますが、地域とどのように関わるかを模索されている状態が、特にコロナ禍を経て続いておられるように感じました。事業所と地域住民がどのように関わっていくのか難しいところですが、大津市民の財産として当事者や家族様だけにとどまらない温かな関わりを期待します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

このたびは第三者評価をいただき誠にありがとうございます。調査2日間を通じて、とても丁寧に聞き取りをいただき、日々の運営状況から個別支援の内容まで確認をいただくことが出来ました。結果として良い部分での一定の評価をいただいたことは、施設運営及び利用者支援に関して、これまで標準的に取り組みを進めてきた成果でもあると実感をしています。ただ一方でまだまだ不足する部分や、むしろ今後より質の高い支援や標準化された支援を提供するための組織的な課題、質的な課題にも気づくことが出来ました。それらの課題を施設内でも共有し改善を図りながら、より良い施設運営、何より利用者さんの日々の支援につなげていければと考えています。

今回、改めて外部の目を入れていくこと、客観的な評価をいただくことの大切さを実感しました。同時にご本人さんの視点も含めてより厳しい観点で評価をいただくことも必要だと考えています。今後も法人内の事業について、第三者評価を受ける機会を積極的に検討していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。このたびは誠にありがとうございました。